

令和4年度 第3学期終業式 式辞

みなさんの令和4年度はどうでしたか？

今日、無事3学期を終えられることを、生徒の皆さん、保護者や地域の方々、そして教職員の皆さんと共に喜びたいと思います。

3月1日に卒業生を送り出し、寂しさを感じている人も多いのではないのでしょうか。しかし、4月になると、新入生が入学してきます。緊張している新1年生たちを、南高の先輩として温かく迎え入れてほしいと思います。

ワールドベースボールクラシックで大谷翔平選手が注目されていますが、私は武内先生と同じくチーム最年長のダルビッシュ投手に注目しています。他を圧倒する実績と経験のある彼が、若い日本代表選手たちがリラックスできるように声掛けをする様子は、とても印象的でした。凄い人・偉い人が“偉そうにしない”、人としてとても大切なことです。3年生・2年生になる皆さんが、新入生に対して思いやりのある態度や言葉で接することを期待しています。

さて、新3年生にとっては、いよいよ進路決定の学年となります。進路は自分で切り拓くものです。あくまでも教員はサポート役です。どうか自分で積極的に考え、積極的に動いてください。学び、成長しようとする皆さんを南高の先生方と叶夢センターのスタッフは全力でサポートしてくれます。新2年生にとっては、どっしり腰を据えて、勉学に部活動に打ち込める年になります。自分がどこまで成長できるか挑戦してください。

先日、南高のレジェンド藤田学さんが第2グラウンドに来てくださいました。1973年ドラフト1位で南海ホークス（現ソフトバンクホークス）に入団され、エースとして活躍されました。当時プレーイングマネージャーとしてキャッチャーをしていたあの野村克也さんとバッテリーを組んでいた方です。千賀滉大（現ニューヨークメッツ）にも関わられた方です。当時の南高は練習が厳しすぎて多くが部をやめて、最後の夏の大会は人数が足りず、他から一人急遽入ってもらって大会に臨んだそうです。それでも準決勝まで勝ち上がったことを、懐かしそうに話されていました。来年度は、そのような先輩方から皆さんを応援してもらえる講演会等も企画したいなと考えています。

最後に、卒業式で言わせてもらった言葉を再度皆さんにもお伝えします。「実存は本質に先立つ」です。皆さん一人一人がまず存在すること。そのことが最も大切！という意味です。忘れないでください。

それでは、令和5年度1学期の始業式に、新たな気持ちで皆が元気に集まれることを期待して、式辞といたします。